

# 令和3年度決算

## 【概要】

令和3年度は、アクションプラン21千駄木地区再開発の完成および新武蔵小杉病院の竣工・移転オープンなどのプロジェクトをこなしながら、大幅な収入の増加と経費の節減による収支構造の改善を目指してスタートを切りました。前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、全教職員の的確な対応により医療収入や補助金収入が前年度より増加し、基本金組入前当年度収支差額は97.5億円の収入超過（黒字）と予算対比で82.4億円を上回る結果になりました。

資金面でも、キャッシュフローの改善により当年度末借入金残高は480億円と前年度より14億円の減少となりました。

## 資金収支計算書 \*会計年度の現預金の動きとその内容を表している計算書

### 1. 収入の部

#### ◆ 学生生徒等納付金収入

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、看護専門学校授業料、入学金、教育充実費等の金額で60.4億円となりました。

#### ◆ 寄付金収入

企業等、篤志家からの教育研究および施設設備にかかる寄付金で、合計8.7億円となりました。

#### ◆ 補助金収入

法人全体で140.7億円となり、予算対比78億円増加となりました。増加は新型コロナウイルス対応にかかる補助金によるものですが、通常の補助金獲得に向けても教育・研究・診療面で注力しました。

#### ◆ 付属事業収入

主に日本獣医生命科学大学の動物医療センターの収入で、附属牧場とワクチン研究施設の収入を合わせて7.9億円となりました。

#### ◆ 受託事業収入

受託研究6億円、治験4.7億円で、他に受託検査・受託指導・受託事業等の収入を合わせて17.7億円となりました。

#### ◆ 医療収入

4病院、3クリニック、健診医療センターの医療収入の合計で927.8億円となり、前年度実績を約80億円上回りました。

#### ◆ 雑収入

当年度開設した武蔵小杉病院別館、多摩永山病院のアメニティ棟にかかる権利金の計上を含んでいます。

### 2. 支出の部

#### ◆ 施設関係支出

当年度の主な案件は、日本医科大学千駄木2号館の新築工事、日本獣医生命科学大学1号棟耐震補強工事完了、アクションプラン21・付属病院第3期工事の完了、新武蔵小杉病院新築工事の完了、多摩永山病院アメニティ棟新築工事の計上で94.4億円となりました。

#### ◆ 設備関係支出

主に教育研究用機器備品（医療機器含む）の購入等で59億円となり、当年度は、新武蔵小杉病院の移転・オープンに伴う電子カルテシステム、放射線システム等の計上がありました。

## 資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日  
(単位: 百万円)

科目	収入の部		
	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金収入	6,148	6,044	104
手数料収入	339	275	64
寄付金収入	606	871	△ 265
補助金収入	6,236	14,072	△ 7,836
資産売却収入	551	579	△ 28
補助活動収入	50	48	2
付属事業収入	737	795	△ 58
受託事業収入	1,624	1,773	△ 150
医療収入	90,332	92,786	△ 2,454
受取利息・配当金収入	3	3	△ 0
雑収入	2,831	3,246	△ 415
借入金等収入	22,000	16,700	5,300
その他の収入 ※ 1	33,819	31,175	2,644
資金収入調整勘定	△ 17,339	△ 20,321	2,982
前年度繰越支払資金	8,734	8,734	—
収入の部合計	156,671	156,780	△ 110

科目	支出の部		
	予算①	実績②	対予算①-②
人件費支出	44,141	45,758	△ 1,617
教育研究経費支出	14,676	14,616	60
医療経費支出	33,731	36,356	△ 2,625
管理経費支出	6,662	6,420	242
借入金等利息支出	490	439	51
借入金等返済支出	14,532	18,134	△ 3,602
施設関係支出	9,714	9,446	268
設備関係支出	9,177	5,907	3,270
その他支出 ※ 2	30,195	28,810	1,385
〔予備費支出〕	25	—	25
資金支出調整勘定	△ 13,973	△ 17,813	3,840
翌年度繰越支払資金	7,300	8,706	△ 1,406
支出の部合計	156,671	156,780	△ 110

※ 1 その他の収入…前受金収入、未収入金収入、貸付金回収収入金

※ 2 その他の支出…前払金支払支出、未払金支払支出、貸付金支出等

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

事業活動収支計算書

\*会計年度の実質的に損益となる収入・支出の内容を3区分して経営状況を表す計算書

1. 教育活動収支

(収入の部)

- ◆ 学生生徒等納付金、医療収入、受託事業収入などは資金収支科目とほぼ同じ意味になり、寄付金と補助金は、施設設備にかかるものを除きます。教育活動収入の合計は1,197億円と予算比111億円の増加となりました。

(支出の部)

- ◆ 人件費  
462億円となり、前年度より17億円増加、予算を12.5億円上回りましたが、新型コロナウイルス感染症対応の特別手当の計上が主な要因です。
- ◆ 教育研究経費（医療経費を除く）  
減価償却を含み208.5億円となります。減価償却額は62億円となり、前年度比約6億円の増加ですが、前年度より新規で購入した機器、建物等によるものと考えられます。
- ◆ 医療経費  
医療経費は医療収入に対しての経費で、高額薬品の院内処方の増加や新型コロナウイルス感染症対応等により予算を25.5億円上回る363億円となり、医療経費率は39.1%と前年度比1.1%の増加となりました。
- ◆ 管理経費  
65.9億円と前年度比15.7億円の増加となりましたが、新武蔵小杉病院の引っ越し経費やオープンにかかる経費がありました。予算比では2.6億円の節減となり、減価償却額は1.7億円となります。
- ◆ 徴収不能引当金組入額等を含めた教育活動支出の合計は1,100億円となり、教育活動収支差額は96.7億円となりました。

2. 教育活動外収支

- ◆ 収入は受取利息で支出は借入金等利息の4億円です。1. 教育活動収支 と2. 教育活動外収支を合わせた経常収支差額は92.3億円となります。

3. 特別収支

(収入の部)

- ◆ 資産売却差額は、日本医科大学弥生1号館の売却にかかる計上を含んでいます。施設設備にかかる補助金、寄付金と現物寄付を合わせて特別収入合計は9億円の計上となります。

(支出の部)

- ◆ 資産処分差額は、山梨県牧心セミナーハウスの売却と図書を除却等で3億円の計上となりました。また、武蔵小杉地区の開発に伴う土地の寄贈を計上して過年度の修正額と合わせて特別支出合計は3.8億円となります。特別収支差額は、5.1億円となりました。

結果、基本金組入前当年度収支差額は97.5億円の収入超過となりました。

事業活動収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 百万円)

【教育活動収支】

科目	予算①	実績②	対予算①-②
学生生徒等納付金	6,148	6,044	104
手数料	339	275	64
寄付金	559	761	△202
経常費等補助金	5,948	13,939	△7,990
補助活動収入	50	48	2
付属事業収入	737	795	△58
受託事業収入	1,624	1,773	△150
医療収入	90,332	92,786	△2,454
雑収入	2,831	3,260	△430
教育活動収入計	108,568	119,682	△11,114
人件費	44,976	46,229	△1,253
教育研究経費	21,500	20,858	642
(減価償却額)	(6,824)	(6,228)	(596)
医療経費	33,731	36,280	△2,549
管理経費	6,856	6,589	267
(減価償却額)	(194)	(168)	(26)
徴収不能引当金組入額等	10	58	△48
教育活動支出計	107,072	110,013	△2,941
教育活動収支差額	1,496	9,669	△8,173

【教育活動外収支】

受取利息・配当金	3	3	△0
教育活動外収入計	3	3	△0
借入金等利息	490	439	51
教育活動外支出計	490	439	51
教育活動外収支差額	△487	△436	△51
経常収支差額	1,009	9,232	△8,224

【特別収支】

科目	予算①	実績②	対予算①-②
資産売却差額	463	561	△97
その他の特別収入	363	340	23
施設設備寄付金	47	110	△63
施設設備補助金	287	133	154
現物寄付	28	95	△67
過年度修正額	—	2	△2
特別収入計	826	900	△75
資産処分差額	303	301	3
その他の特別支出	—	86	△86
過年度修正額	—	72	△72
開発に伴う土地寄贈	—	14	△14
特別支出計	303	387	△83
特別収支差額	522	514	9
〔予備費〕	25	—	25
基本金組入前当年度収支差額	1,506	9,746	△8,240
基本金組入額合計	△14,211	△12,509	△1,702
当年度収支差額	△12,705	△2,763	△9,942
前年度繰越収支差額	△153,168	△153,168	—
基本金取崩額	0	1,093	△1,093
翌年度繰越収支差額	△165,873	△154,839	△11,035

(参考)

事業活動収入計	109,397	120,585	△11,189
事業活動支出計	107,891	110,839	△2,949

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。

## 貸借対照表

\*資産の部、負債の部、純資産の部に区分され会計年度末の財政状況を表す計算書

### 1. 資産の部

- ◆ 固定資産は、新武蔵小杉病院の竣工・オープンに伴い建物、構築物、教育研究用機器備品で増加、対応して建設仮勘定は減少したが、前年度比 86 億円の増加となりました。
- ◆ 流動資産の当年度末現金預金残高は 87 億円となり、当年度末の資産の部合計は 1,451 億円となりました。

### 2. 負債の部

- ◆ 当年度末借入金残高は 480 億円で前年度より 14 億円の減少となり、当年度末の負債合計は 904 億円となりました。

### 3. 純資産の部

- ◆ 学校法人会計特有の基本金が記載されています。基本金は、学校の教育活動を安定・継続的に保持していくために必要な資産の金額を親念的にとらえて、事業活動収入から留保したものとされ、第 1 号から第 4 号まで目的に応じて定められています。本学の当年度の基本金残高は、2,095 億円となりました。

## 貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位：百万円)

資産の部			
科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②
固定資産	115,892	107,251	8,641
有形固定資産	114,552	105,873	8,680
土地	22,362	22,395	△ 33
建物	71,164	58,404	12,760
構築物	2,158	1,300	859
教育研究用機器備品	15,985	13,423	2,562
管理用機器備品	175	184	△ 9
図書	2,506	2,640	△ 135
車両	119	113	7
建設仮勘定	82	7,414	△ 7,331
特定資産	58	58	—
第 3 号基本金引当特定資産	58	58	—
その他の固定資産	1,282	1,321	△ 39
長期有価証券	316	316	—
その他	966	1,004	△ 39
流動資産	29,176	27,281	1,894
現金預金	8,706	8,734	△ 28
その他	20,470	18,547	1,922
資産の部合計	145,067	134,532	10,535

負債の部			
科目	本年度末①	前年度末②	対前年①-②
固定負債	58,503	56,084	2,420
長期借入金	35,845	35,246	599
その他	22,658	20,838	1,820
流動負債	31,856	33,487	△ 1,630
短期借入金	12,149	14,182	△ 2,034
短期未払金	15,942	14,773	1,169
前受金	2,770	3,552	△ 782
その他	995	980	16
負債の部合計	90,360	89,570	789
純資産の部			
基本金	209,546	198,130	11,417
第 1 号基本金	202,213	190,796	11,417
第 2 号基本金	—	—	—
第 3 号基本金	58	58	—
第 4 号基本金	7,276	7,276	—
繰越収支差額	△ 154,839	△ 153,168	△ 1,670
翌年度繰越収支差額	△ 154,839	△ 153,168	△ 1,670
純資産の部合計	54,708	44,962	9,746
負債及び純資産の部合計	145,067	134,532	10,535

\* 科目毎に百万円未満を四捨五入処理のため、合計で必ずしも一致しない。